

年度別有賀記念学会賞受賞者及び業績一覧表

| 年度 | 回 | 支部 | 受賞者 | 所属 | 受賞対象業績・論文 |
|-------|-----|-------|-------|------------------|---|
| 昭和58年 | 1回 | 関東甲信越 | 岩崎 政明 | 防衛医科大学校第2内科 | 胃集検による発見疾患の実態と推移 |
| | | 九州 | 中馬 康男 | 鹿児島県厚生連健康管理センター | 胃集検における精度管理 |
| | | 東北 | 久道 茂 | 東北大学公衆衛生学教室 | 胃集検の効果とその評価 |
| 昭和59年 | 2回 | 北海道 | 有末 太郎 | 北海道対がん協会検診センター | 広域集検の現状と展開 |
| | | 中国四国 | 草加 芳郎 | 草加内科 | 岡山県の胃集検 |
| | | 関東甲信越 | 藤井 彰 | 癌研究会附属病院検診センター | 施設集検における発見胃癌について |
| 昭和60年 | 3回 | 東海北陸 | 土井 健吾 | 岐阜大学放射線医学教室 | 胃集検における間接X線の癌描出能に関する研究 |
| | | 関東甲信越 | 吉田 貞利 | 川崎市がん検診センター | 川崎市における地域集検の現状と評価-がん計画検診の評価を含めて- |
| 昭和61年 | 4回 | 九州 | 福田 實 | 福田胃腸科医院 | ダブルチェックの功罪 宮崎方式での検討 |
| | | 関東甲信越 | 栗原龍太郎 | 日本大学放射線科 | 間接撮影法の変遷 |
| | | 中国四国 | 北 昭一 | 川崎医科大学公衆衛生学教室 | 岡山県の胃集団検診と間接撮影法 |
| 昭和62年 | 5回 | 中国四国 | 竹内 義員 | 香川県立成人病センター | 胃集検精度の検討 -偽陰性例を中心に- |
| | | 近畿 | 吉川 邦生 | 長浜赤十字病院 | モデル集検としての職域胃集検 |
| | | 九州 | 中村 裕一 | 中村胃腸科医院 | 胃集検の評価と効率化 |
| 昭和63年 | 6回 | 中国四国 | 福本 四郎 | 島根医科大学第2内科 | 地域車集検の精度向上、拡充に関する研究 |
| | | 東海北陸 | 服部 和彦 | 藤田学園保健衛生大学内科 | 胃集検のコスト及び胃癌死亡率 |
| | | 東北 | 井上 修一 | 秋田大学保健管理センター | 地域集検からみた胃癌死亡の減少 |
| 平成元年 | 7回 | 東北 | 菅原 伸之 | 宮城県対がん協会がん検診センター | 胃集検「宮城方式」効果の評価に関する研究 -胃癌の生存からみた効果について- |
| | | 近畿 | 大島 明 | 大阪がん予防検診センター | 胃がん死亡減少に対する胃集検の効果 -患者対照研究の手法による評価- |
| | | 関東甲信越 | 西澤 謙 | 東京都がん検診センター | これからの胃集検(その1) -逐年検診よりみた胃集検方式の違いによる胃癌発見率と救命率- |
| 平成2年 | 8回 | 北海道 | 吉田 裕司 | 北海道対がん協会検診センター | 胃集検時の間接X線撮影による一次スクリーニングの精度管理に関する研究-偽陰性例推定法の開発- |
| | | 関東甲信越 | 今村 清子 | 横浜市立市民病院がん検診センター | 間接撮影法の再検討 -特に前壁撮影法について- |
| | | 九州 | 草場威穂夫 | 九州歯科大学外科学 | 胃集検と胃癌に関する外科病理学的研究 -胃癌の発育パターンからみた胃集検の意義- |
| 平成3年 | 9回 | 関東甲信越 | 関口 利和 | 群馬大学第1内科 | 直接撮影法による地域胃検診 -都市型検診、前橋市医師会、個別検診の結果- |
| | | 近畿 | 高橋 仁志 | 奈良県立医科大学放射線科 | 間接X線読影と判定基準 -数量化の試み- |
| | | 中国四国 | 河村 燐 | 山口労災病院 | 胃癌検診受診率向上に寄与するもの ~複合検査と直接撮影医療機関委託方式~ |
| 平成4年 | 10回 | 九州 | 北川 晋二 | 福岡大学放射線科 | 胃集検における間接フィルムの読影方法に関する研究 |
| 平成5年 | 11回 | 東海北陸 | 小林 世美 | 愛知県がんセンター | 愛知県における大腸集検の歩み |
| | | 中国四国 | 相良 安信 | 香川県立がん検診センター | 間接X線の精度に関する研究 -集検発見胃癌の描出能から- |
| 平成6年 | 12回 | 東北 | 斎藤 博 | 弘前大学第1内科 | 逆受身血球凝集法(Reversed Passive Hemagglutination:RPHA)による免疫学的便潜血試験を用いた大腸癌集団検診-従来の便潜血試験との比較- |
| | | 九州 | 草野 健 | 鹿児島県厚生連健康管理センター | 胃集検をさらに発展させるために |
| 平成7年 | 13回 | 近畿 | 藤田 昌英 | 蒼龍会井上病院 | 教室で16年間に実施した8種の大腸癌集検法の比較検討 |
| | | 東北 | 深尾 彰 | 東北大学公衆衛生学 | 消化器集団検診の精度、効果に関する臨床疫学的研究 |
| 平成8年 | 14回 | 関東甲信越 | 佐々木壽英 | 新潟県立がんセンター | 胃がん検診の総合的評価、特に最終目的に対する評価 |
| 平成9年 | 15回 | 東北 | 樋渡 信夫 | 東北大学第3内科 | 大腸がん検診システムの精度管理に関する研究 |
| | | 九州 | 土龟 直俊 | 熊本大学放射線科 | 胃集検フィルム読影上の問題点 |

年度別有賀記念学会賞受賞者及び業績一覧表

| 年度 | 回 | 支部 | 受賞者 | 所属 | 受賞対象業績・論文 |
|-------------|-----|-------|-------|-------------------------|--|
| 平成10年 | 16回 | 近畿 | 多田 正大 | 京都対がん協会 | 大腸癌検診に関する臨床的研究 |
| 平成11年 | 17回 | 東北 | 小野寺博義 | 宮城県立がんセンター | 医療システム構築による肝癌検診体系の確立による研究 |
| | | 東北 | 長澤 茂 | 岩手医科大学第1内科 | 間接X線写真における不確実所見の検討 |
| 平成12年 | 18回 | 中国四国 | 吉原 正治 | 広島大学保健管理センター | 血清ペプシノゲンの測定を用いた胃集検の拡大 |
| 平成13年 | 19回 | 関東甲信越 | 窪川 良廣 | 順天堂大学消化器内科 | 肝胆膵悪性腫瘍の体外式超音波検査によるスクリーニングの有効性 |
| | | 関東甲信越 | 濱島ちさと | 聖マリアンナ医科大学予防医学 | 胃集団検診における前壁二重造影剤の研究 |
| | | 東海北陸 | 松田 一夫 | 福井県健康管理協会 | 大腸集検における中間期癌-福井県がん登録との記録照合による検討 |
| 平成14年 | 20回 | 九州 | 三原 修一 | 日本赤十字熊本健康管理センター | 肝癌の危険因子と肝癌検診のあり方についての検討 |
| | | 関東甲信越 | 増田 英明 | 横浜市立市民病院がん検診センター | 超音波検診の精度管理に関する研究 |
| 平成15年 | 21回 | 関東甲信越 | 斎藤 洋子 | (財)茨城県総合健診協会 | 地域胃がん検診における間接X線法とペプシノゲン法の効果的な組み合わせの検討 |
| 平成16年 | 22回 | 関東甲信越 | 川村 洋 | 日本大学内科学講座内科3部門 | 人間ドックにおける尿中抗 <i>Helicobacter pylori</i> 抗体価測定の有用性 |
| | | 東海北陸 | 細川 治 | 福井県立病院外科 | Diagnosis of Gastric Cancer up to Three Years after Negative Upper Gastrointestinal Endoscopy (Endoscopy 1998;30(8):669-674) |
| 平成17年 | 23回 | 関東甲信越 | 西田 博 | 松下健康管理センター健康情報解析室 | 追跡調査よりみた大腸集検発見腺腫例の効果的な対処方法について |
| 平成18年 | 24回 | 東北 | 渋谷 大助 | 宮城県対がん協会がん検診センター | ペプシノゲン法に併用する間接胃X線撮影法と読影法の検討、他 |
| | | 中国四国 | 井上 和彦 | 松江赤十字病院 | 血清ペプシノゲン法とヘリコバクターピロリ抗体価を用いた胃の‘健康度’評価に関する研究 |
| | | 九州 | 野崎 良一 | 高野会高野病院 | 便潜血検査とシグモイドスコビーを併用した大腸がん検診における効率的な検診間隔 |
| 平成19年 | 25回 | 東北 | 島田 剛延 | 宮城県対がん協会がん検診センター | IFOBTによる大腸癌一次スクリーニングの成績他 |
| | | 関東甲信越 | 鈴木 康元 | 松島病院 大腸肛門病センター | スクリーニングTCSの効率的な実施法 |
| 平成20年 | 26回 | 該当なし | | | |
| 平成21年 | 27回 | 該当なし | | | |
| 平成22年 | 28回 | 該当なし | | | |
| 平成23年 | 29回 | 該当なし | | | |
| 平成24年 | 30回 | 該当なし | | | |
| 平成25年 | 31回 | 中国四国 | 安田 賢 | 香川県立がん検診センター | 胃がん検診における経鼻内視鏡検査導入の試み、他 |
| 平成26年 | 32回 | 東北 | 加藤 勝章 | 宮城県対がん協会がん検診センター | 胃がん検診のためのペプシノゲン法・胃X線検査併用法におけるPG陽性判定基準の設定とPG陰性がんに対するX線法検査精度の問題点、他 |
| 平成27年 | 33回 | 該当なし | | | |
| 平成28年 | 34回 | 該当なし | | | |
| 平成29年 | 35回 | 近畿 | 伊藤 高広 | 奈良県立医科大学放射線医学教室 | 胃がん検診活動及び胃がんリスク分類を考慮した胃がんX線検診の診断基準における研究 |
| | | 中国四国 | 鎌田 智有 | 川崎医科大学健康管理学 | ペプシノゲンとピロリ菌、萎縮性胃炎に対する研究 |
| 平成30年 | 36回 | 該当なし | | | |
| 平成31年 /令和元年 | 37回 | 関東甲信越 | 松本 吏弘 | 自治医科大学付属さいたま医療センター消化器内科 | X線検診、検診未受診と対比した胃内視鏡検診による死亡率減少効果 |
| 令和2年 | 38回 | 該当なし | | | |
| 令和3年 | 39回 | 該当なし | | | |
| 令和4年 | 40回 | 該当なし | | | |
| 令和5年 | 41回 | 関東甲信越 | 山道 信毅 | 東京大学附属病院 予防医学センター | 胃がん検診におけるリスク層別化のエビデンス構築への貢献 他 |
| 令和6年 | 42回 | 該当なし | | | |
| 令和7年 | 43回 | 近畿 | 中島 滋美 | JCHO滋賀病院総合診療科 部長 | <i>Helicobacter pylori</i> 感染を考慮した胃X線検診への貢献 |